池田ロータリークラブ週報

2021年7月7日〈3193回例会〉 No.3194

(国際ロータリーのテーマ) 奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために (池田ロータリークラブのテーマ) 池田ロータリークラブ 変えるべきもの、 変えるべきではないもの



例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 池田商工会議所 2F 創 立 1954 年 4 月 24 日 事務局 〒563-0025

大阪府池田市城南 1-1-1 池田商工会議所 2F TEL (072)752-3355 FAX (072)752-7800

ホームページ: ikeda-rc.com E-mail アドレス ikeda-rc@amber.plala.or.jp

2021-22 年度 R I 会長シェカール・メータ ■地区ガバナー 吉川 秀隆

■会長 林 功 ■副会長 名村研二郎 ■副会長 井上 裕子 ■副会長 鶴原 英生 ■幹事 林原みどり ■副幹事 新見 香

■親睦委員長 笹川 哲士 ■広報·会報 吉岡 崇

2020-21 年度 前会長 奥村 勝彦

この1年間、コロナ禍により十分な活動をできないまま終わることになってしまいましたが、その間、会員の皆様からは常にあたたかいご支持や励まし、そして深いご理解を賜り、今日を迎えられたことに、まずもって心から厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

このあとの退任挨拶にて、いろいろなお話をさせていただきます。よろしくお願い致します。



開会・点鐘 ロータリーソング

ゲスト&ビジター紹介

出席報告

会長挨拶

幹事報告 委員会報告

===BOX

本日の卓話

本日の卓話

『三役就任挨拶』

卓話者:

林 功会長 名村研二郎副会長 井上 裕子副会長 鶴原 英生副会長 林原みどり幹事

◆幹事報告◆

幹事 北林 寛崇 会員

(地区より)

①ガバナー事務所会議室利用についてのご連 絡

(奥村会長、林会長エレクト、北林幹事、林原 幹事エレクト)

②国際奉仕委員会アンケート送付の件

(今年度国際奉仕委員長名村会員、次年度国際 奉仕委員長近藤会員)

(米山奨学会より)

③2022 年度地区別奨学生割り当てのご報告 (奥村会長、北林幹事)

≯出席報告❖

出席報告 永田 大介

- 〇出席数 27名
 - 〇会員数 29名
 - 〇出席率 93.10%

♣===== B0X

プログラム担当:橋本 昌也 会員 ニコニコ 担当:木平 朝子 会員

奥村 勝彦会長:1年間ありがとうございまし

た。御協力に感謝申し上げます。徳永先生、ご卒業おめで

とうございます。

徳永 昭夫会員:45年間長い間お世話になりま

した。私の人生の半分以上に なります。ロータリーで得た 教訓を残りの人生に使いた いと思います。

池田ロータリークラブの 益々の発展を祈念します。あ りがとうございました。

北野 紀之会員:奥村会長ご苦労様でした。感

謝です。

林 功会員:奥村会長はじめ執行部の皆様、

お疲れ様でした。

暮部 光昭会員:徳永先生長年お疲れ様でした。

柴田 宜孟会員:奧村会長、北林幹事、1年間

ありがとうございました。

林原みどり会員:奥村会長、北林幹事、理事の

皆様今期、色々とお世話になりありがとうございます。 来期もよろしくお願いしま

す。

北林 寛崇会員:本日、退任挨拶です。1年間

ありがとうございました。感 謝しかありません。あとは、 次年度幹事、林原幹事に託し

ます。

橋本 昌也会員:徳永先輩、長いロータリア

んライフおつかれさまでした。息子様とは小学1年生からのお付き合いで、今もお世話になっています。 末永く、お元気でお過ごしください。ありがとうございま

木平 朝子会員:徳永先生、長いロータリー

した。

生活お疲れ様でした。



♦前回の卓話◆

『三役退任挨拶』



奥村 勝彦 会長

退任するに当たりまして一言ご挨拶申し上げます。 まずはこの1年間、コロナ禍により十分な活動をでき ないまま終わることになってしまいましたが、その間、 会員の皆様からは常にあたたかいご支持や励まし、そ して深いご理解を賜り、今日を迎えられたことに、ま ずもって心から厚くお礼申し上げます。ありがとうご ざいました。

また、未熟なロータリアンで、且つわがままな私の ため、大変なご苦労をおかけしました幹事の北林さん をはじめ理事役員の方々には、皆さんご自身が、厳し い経営のなかにも関わりませず、ロータリークラブの 企画運営にたずさわっていただき、本当にご苦労様で した。いつも頭の下がる思いでした。ありがとうござ いました。

そして事務局の山根さんには刻々変化するコロナ 情勢のもと、その都度間違いのない連絡や会場手配、 弁当手配、更には臨時会報の発行と忙しく活動してい ただきました。本当にご苦労様でした。ご自身も事務 局員として一段と成長されたことを、実感されたので はないかと思います。ありがとうございました。

また、女川さんには不規則な schedule にも関わらず、いつもながらの美しいピアノ伴奏をしていただき、カラオケ禁止の時代に声を出して歌える幸せを感じていました。ありがとうございました。

以上のように多くの皆さんに支えられた1年であり

ましたが、少し振り返ってみたいと思います。

18年の暮れだったと思いますが、思いもかけず会長への打診がありました。私は当時入会して5年ほどでしたし、ロータリーについての知識も乏しく、それに経験を積まれた多くの先輩方がいらっしゃるのに、なぜという気持ちが強く、当初、固く辞退申し上げました。しかし、熱心なお誘いもあり、出身会社にも相談しましたら、そこまで言っていただけるのなら、これまでお世話になった地元への少しでも恩返しできる機会と考えて、お受けしたらどうかとの話があり、大変僭越ながらもお受けした次第でございました。

そこで改めてロータリーの歴史や奉仕の心などについて勉強をしながら、一方、活動方針の軸となるテーマについて考えました。

まず、自分自身なんのために RC に来ているのかを よく考えてみました。私は50年近く自動車会社に勤 めました。自動車業界は裾野の広い産業といわれてい るのですが、中に入ってしまうと意外と特殊な社会が あります。メーカーを頂点とした系列社会、100年近 く成長し続けている産業(もちろん会社個々には浮き 沈みはあるものの、また、ここに来て100年に一度と いう変革期を迎えている)、それを支える国際語とな ったカイゼン(改善)、現地現物。自信過剰で上から 目線。(これは自分のことで他の人は知りません) そ んな中で、しかもそれが当たり前という社会で育った わけです。退職後そこからから離れてみて、ロータリ ーの皆さんやこれまでの仕事仲間から離れた人達と お付き合いしていると、ちょっと違うな?ということ がだんだん分かってきたのです。ですから、ロータリ ークラブの人たちと話すのがとても新鮮に感じ、そし て楽しみとなってきたのです。それはどうしてかと申 しますと、もちろん奉仕の志を備えた、人格的に素晴 らしい人達であることは間違いのないところですが、 それ以上に、小さい組織ながらも多様性に富んだ人々 の集団だからだと思います。まさしく「ロータリーは 機会の扉を開く」であります。そのためにもまずは一 緒に集まろう、集まりたい、ということから「Together Everyone (素晴らしい出会いを求めて)」と言うテ

ーマがすっと浮かんできました。皮肉にも集まることがこんなに難しいことになろうとは想像もしていませんでしたが。すぐには今の環境がよくなるとは思いませんが、基本は集まることだと今も、考えています。そして、私がロータリークラブ活動の中で、最も気に入っていると言うか大切に思っていますのが、職業奉仕であります。それだけに、ご担当いただきました田島さんが、一生懸命企画してくれていた近江商人を勉強する会が、コロナ禍により、実現できなかったことが大変残念に思います。

ご承知の通り、RC 誕生の背景から生まれた行動規範である「4 つのテスト」は私が尊敬する近江商人の教えである「三方よし」すなわち"買い手よし"、"売り手よし"、"世間よし"に通じるものがあるからであります。なんといっても、RC 誕生の背景からして、職業倫理を高めることが一番大事であり、それを実現するためにおたがいが、切磋琢磨することによって自分自身を磨き、その結果、クラブも成長し、仲間も増えるという循環になるのだと思います。是非とも、いつかの時点でこのプロジェクトを実現していただきたく楽しみにしております。

このコロナをきっかけに世の中が大きく変貌していくことでしょう。また、そうでなければいけないのだと思います。社会が膨張しすぎて、自信過剰になりすぎて、どこかではじけないと、もたなくなり、神様はこの謙虚さをなくした人間社会に試練を与えられたのではないかと考えています。

しかしこのロータリー精神は不動です。私自身も長い企業生活から離れ、そのときに、かいた汗も乾き、さて、それがシミとなっての残るのか、あるいは人間の味となっていくのかの境目に来ています。今後もロータリー活動を続け、味となるように努力して参りたいと思いますので、これからも一会員としてよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様のご健康と池田ロータリー クラブのますますの発展を祈念し、私の退任の挨拶と いたします。ご清聴ありがとうございました。



北林 寛崇 幹事

今年度初めに、今年のコロナ禍の記録を残したいと 目標に掲げておりましたのでこの1年を思い返しな がらになりますが発表させていただきます。まずは…

- ・例会は36回中、緊急事態宣言下で、12/8~3/8の8 回と5/8~6/2の4回の計12回/の休会となりました。
- ・休会の目安は、理事会で大阪モデルでの赤信号で休会、黄色信号で再会という目安を作っていただき、以後それに順ずる方向で判断いたしました。休会中でも理事会は毎月3密を避けて実施出来たことは、池田ロータリーとして止まらずに、少しでも進めている実感が持ててよかったと思っています。
- ・会長の機転で臨時週報も事務局の協力の下、会員の 近況報告として活用できたことと、会長のお言葉や幹 事報告も発信できました。この休会中の臨時週報は会 員同士の近況報告がそのまま会員同士の親睦に繋が るいい手法の一つだと思いました。
- ・20-21年度の昼食は、前年度をヒントに配膳をやめ、お弁当での昼食を引き続き実施。また、戦略計画委員会のなかで金額に関わらず、いわゆる「ランチ」としての昼食でも良いから昼食は続けるべきとの助言も頂き、配膳なしの空き箱が捨てられる、又は持って帰れるお弁当に期間途中から思い切って田中SAAと相談し導入でき、無事に昼食が再開されました。

・今年度は地区から例会の出席率は問わない、という お達しもあり、コロナ禍では職業上なかなか出席でき ない会員も出てくることから、zoom も併用し、地区 の zoom マニュアルも活用しながら、ハイブリット例会とし て何回か開催できました。まだまだリアル出席が多い 状況ですが、いままでの例会としての親睦の意味だっ たり、例会としてのお弁当の意味だったり、例会とし ての場所だったりということを考えての zoom は難し いものが有りますが、コロナ禍ではメリハリをつけて 例会をするのも十分ありかなと思います。理事会の方 が zoom に向いているかなとも思います。あと、コロ ナ禍での例会欠席の定義も整理した方がよいと思い ました。例会の欠席には事務局に返していただいた場 合は公欠、それ以外は欠席扱いにした方が、出席率に 反映しやすいのではと思います。今のままではあいま いで判断が人によって異なりそうに感じております。 また zoom 例会時、担当を一人決めた方がスムーズだ と思います。また、集音マイクが必要かと思います。 ・また、地区側からは、とにかく zoom などで例会や 飲み会など親睦を図っていただきたい。という内容の 案内が来ておりました。戦略計画委員会のなかでも話 しに上がっていましたが、当たり前に集まれたのに今 はなかなか集まれないので、様々な工夫だったりそう いったときに池田ロータリークラブとして逆に地区 に提案ができたり、意識の高いロータリークラブでい たいなと思いました。

・奥村 (勝彦) 会長年度は卓話にも力を入れたいということで、コロナ禍では代理を呼ぶのもなかなかかなわず会員自らの卓話の方向で進んでおりました。そういうこともあり、会員の個性ある卓話が多く見られ個人的にも勉強になり楽しませていただきました。そんな中、休会で卓話ができなかった会員や急にお願いしてやっていただいた会員の皆様にはご迷惑をお掛けしました。休会で卓話が出来なかった会員の皆様方には、ネタは温存していただき次回の卓話を楽しみにしておりますのでよろしくお願いします。

・奉仕事業ですが、コロナ禍では対面という事もでき

ない中、相手方との打ち合わせなど進めずらく、親睦・社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕も当初考えていた計画もまったく進まずに、無念ですがことごとく中止に追いやられた。

ここは幹事としての力量がなく、コロナ禍でも何か出来たのではないかと思うと、柔軟にかつ良い判断も出来たのではと思いますし、まだまだ自分の勉強不足でいたらないところが有りました。各委員長にも本当に申し訳なく、また奉仕活動が制限された中での会員の皆様にそのような機会を作れなかった事は大変申し訳なく思っています。

- ・今年度はたくさんのアンケートにもご協力願いました。 しっかり集計させていただき次年度へ引き継がせて いただきます。
- ・ガバナー公式訪問や補佐訪問も無事に開催でき、ガバナー補佐訪問を2回出来たのは数箇所だけとおっしゃっておられたのでその中に池田が入っているのはラッキーだと思っています。
- ・最後になりますが、奥村(勝彦)会長の幹事に任命 され、本当によかったと思っております。幹事の仕事 は、今年度は特にロータリークラブの円滑由にならな ければいけないと思っておりました。初めは幹事とし てしっかりしなきゃとか態度も行動も空回り気味で したが、そういった意味では諸先輩方にたくさんのご 指導を受け、ご教授いただきましたことに本当に感謝 申し上げます。また、今年度はコロナ禍真っ只中のな か、恒例ということがなかなか出来なく、あらゆる場 面で判断しなければいけませんでした。そういったと きに奥村会長は、それはこうしよう、これはこの方が いいよ、それは理事会で判断を仰ごう、というように 的確にご判断していただき、その判断理由を身近で聞 けたことは、光栄で何事もこれからの人生での肥やし になるだろうと思っています。今年度の良いところは 会長の判断のお陰で進ませることができました。悪い ところはすべて幹事の行いの悪いところになります ので、よろしくお願い致します。この1年間は大変で

したが、この発表をもってこの1年の記録とさせていただき、幹事報告とさせていただきます。おわりに、 事務局の山根さん、私は楽しかったです。1年間、それ以上ですが、こんな幹事を支えていただきありがと うございました。

鶴原 英生 副会長

1年間、本当にありがとうございました。会長、幹事様そして皆様には暖かく見守っていただき、感謝しかございません。

この一年を振り返りますと、コロナ、コロナで疲弊 し、例会も度重なる緊急事態宣言、そして延長と休会 となることが多く、なんのお役にも立てず、何もでき ずに終わってしまった、という気持ちで申し訳なく思 っています。

しかし、何より皆さんが健康で過ごされたことが、この1年の何よりの成果だったようにも思っております。ワクチン接腫を完了された方もおられるでしょうが、後しばらくの辛抱です。来年度は、日常を取り戻し、また様々な行事、企画において友好を深められる事を心より祈念しております。

1年間ありがとうございました。





吉岡 崇 副会長

2020-2021 年度の池田ロータリークラブのテーマは「Together Everyone」でした。

残念ながら本年度は「コロナウイルス」への対応で 始終悩まされました。

通常の年度より会長はじめ理事役員の方にとって、大 変に気を遣う年度でした。

そんな中でもズーム理事会や被選理事会そして定例会・RACの例会もズームで行ない、新しいコミュニケーションツールにもトライしました。新しいロータリークラブの運営にうまく利用していくことが、今後のロータリークラブの運営にきっとプラスとなります。

次年度こそは、本年残念ながらあまり出来なかった ロータリークラブの相互親睦をリアルでより積極的 に取り組んでいくよう望みます。「Together Everyone」です。



7月のスケジュール

7	水	3193 回例会
		三役就任挨拶
14	水	3194 回例会
21	水	3195 回例会
28	水	3196 回例会
		クラブアッセンブリー①

2020-21義捐金BOX累計 次年度へ繰越

義捐金BOX

143,600 円

144,661 円

1,061 円

6月16日時点累計 21,311 円

6月23日分 24,997 円

累計 46,308 円 14.0 円 14.0 円

振込手数料 440 円 2020-21 R財団へ寄付 45,858 円

次年度繰越金なし

6月16日累計

6月23日分

累計

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ 本仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の業 望むは世界の久遠の平和 めぐる歯車いて輝きて 永久に栄えよ 我等のロータリー

ニコニコ箱の累計

2020-21 年度ニコニコ累計 977,214円



7月14日(水)例会

『相続のイロハ

争族にならないために事前準備を しましょう~』

卓話者 :田村 大輔会員